

M-AUDIO

Pulsar II

の手入れと使用方法ガイド

日本語

はじめに

Pulsar II小口径ダイアフラム・コンデンサー・マイクロフォンをお買い上げ頂きまして誠に有り難うございます。世界中のスタジオ・アーティストが信頼を置くM-Audioのマイクロフォンは、透明感のあるサウンドと正確な音のバランスで優れたアコースティック・パフォーマンスを実現します。Pulsar IIには、新しいFET回路、改良型ダイアフラム・ダンピング、リデザインされたフロントグリルとバックプレート等、様々な改良が加えられています。その結果、大変に滑らかな中域のレスポンスとよりオープンな最高周波域（15kHz以上）が得られ、Pulsar IIは世界で最高級とされる小型ダイアフラム・マイクロフォンと驚くほど似た周波数レスポンス・カーブを示します。

Pulsar IIをご使用になる前に、本ガイドをよくお読みになり製品についての知識を深めて下さい。

特徴

- 高品位カーディオイド・インストゥルメント・マイクロフォン
- 直径3/4インチ6ミクロンのマイラー金蒸着ダイアフラム
- ソリッドな真鍮製バックプレート装備
- 周波数特性20Hz-20kHz
- Class A FETエレクトロニクス採用
- 切り替え式-10dBパッド装備
- 切り替え式ハイパス・フィルタ（80Hzで12dB/オクターブ）装備
- 3ピンXLR端子装備
- ソフトな布製バッグ、ポップスクリーン、ハードマウント同梱

製品パッケージ内容

Pulsar IIには以下の製品が含まれます。万が一、紛失しているものがあれば、ご購入店にお問い合わせ下さい。

- M-Audio Pulsar IIマイク
- ハードマウント 1ヶ
- ポップスクリーン 1ヶ
- ロフォン 1本
- ソフトな布製バッグ 1ヶ
- 木製ケース 1ヶ

Pulsar IIの使用方法

M-AudioのPulsar IIマイクロフォンは、バランスの低インピーダンスのシグナルを出力します。ミキサーやM-AudioのDMP3、Octane、Tampa等の高品位なマイクプリアンプに接続して使用するよう設計されています。これらのマイクプリアンプは、透明感のあるサウンドとフル・ダイナミック・レンジを提供しながらマイクロフォンのシグナルの増幅が可能な大変に「自然な」サウンドを実現します。

その他全てのコンデンサー・マイクロフォンと同様に、Pulsar IIの動作には電源供給が必要です。Pulsar IIにはXLRマイクロフォン・ケーブルを使用して+48Vのファンタム電源を供給するマイクプリアンプまたはミキサーの入力端子に接続する必要があります（ファンタム電源とマイクロフォンからのオーディオはXLRケーブルを共有します）。ポップ・ノイズの発生やスピーカー等のコンポーネントを損傷させる急な電圧変化を避けるには、マイクやケーブルの接続に関して、以下の方法（順序通り）に従います。

1. マイクプリアンプやミキサーのボリューム/ゲインを最小にします。
2. ファンタム電源がオフであることを確認します。
3. 高品質のXLRケーブルを使用してマイクロフォンを接続します。
4. ファンタム電源をオンにします。
5. プリアンプやミキサーのゲインを徐々に上げます。

マイク/ケーブルの接続を外すときには、上記の手順1、2(順序通り)に従います。

利用方法

Pulsar IIが素晴らしいインストゥルメント録音用マイクロフォンである理由は、Pulsar IIのクリーンなエレクトロニクスに金蒸着ダイアフラムを組み合わせる滑らかなトーンを生成するからです。弦楽器や木管楽器には、オーバーヘッド・ドラム・マイクとして使用したり、またルームアンビエンスの録音用マイクとしても使用できます。マイクのコレクションに更にプロフェッショナルなクオリティのマイクロフォンを加えるなら、数々の賞を受賞しているM-AudioのLunaやマルチパターンの録音特性を持つM-AudioのSolarisマイクロフォンやSputnikチューブ・マイクロフォンが最適です。

カーディオイド・パターン

カーディオイドはマイクロフォンに搭載された最もよく使用される極性パターンです。このデザインによりマイクをサウンド・ソースの方向に向けるだけで、マイクロフォンの背面のサウンドからの侵害を受け付けず、シグナル・ソースを周囲の不要なサウンドや背景のノイズから分離することができます。

マイクロフォンの取り扱い

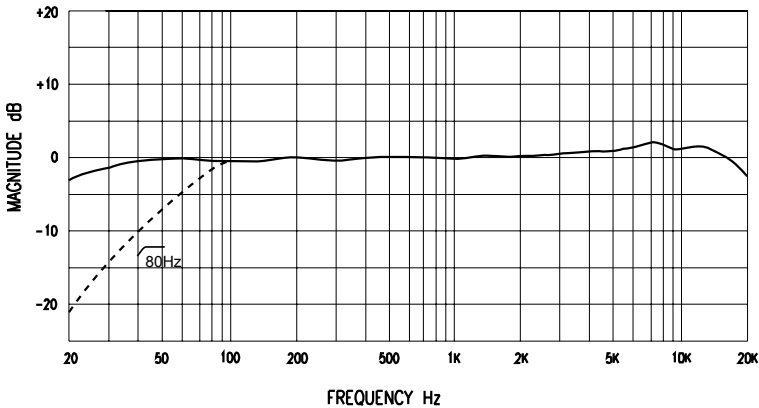
Pulsar IIマイクロフォンの取り扱いには以下の点で注意して下さい：

- Pulsar IIIに物理的な衝撃を与えないで下さい。
- 常にスタンドを使用し、スタンドに固定する場合は常に同梱のハードマウントを使用して下さい。
- マイクロフォンを屋内外で移動して使用する場合、接続する前にマイクロフォンを一旦室温に戻し、ダイアフラムに水分が付着しないよう水気を避けて下さい。
- 高品位なケーブルを常に使用してマイクロフォンの電気系統を損傷しないよう電気による不具合を避けて下さい。
- Pulsar IIIはいかなる湿度にもさらさないよう注意して下さい。ボーカル用マイクとして使用する場合、同梱のポップスクリーンを使用してダイアフラムに息が直接かかり唾液が付着しないよう注意して下さい。
- Pulsar IIマイクロフォンを分解しないで下さい。使用可能部品は含まれていません。
- 35度以上、または10度以下の極端な温度の環境を避けて使用して下さい。
- 使用の度に使用後、柔らかい布でPulsar IIの外装を拭き塵や埃からの損傷を防いで下さい。
- Pulsar IIIに普通以上の汚れが付いた場合には柔らかい布を湿らせて金属部分の汚れを拭き取った後、完全に乾かせる必要があります。洗剤等の水分はマイクロフォンを損傷するため、マイクロフォンに直接吹き付けてはいけません。

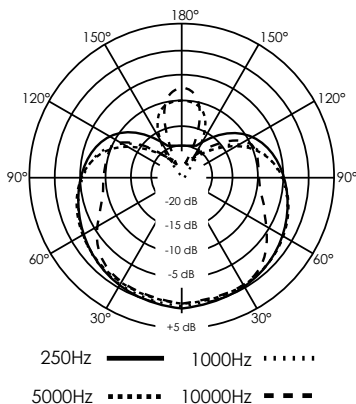
技術仕様

- タイプ：小型ダイアフラム・コンデンサー
- 極性：カーディオイド
- 周波数特性：20Hz - 20kHz
- 感度：13.8 mV/Pa (-37dBV ref. 1V/Pa)
- 最大 SPL (<0.5%スレッシュホールド・レベル)：134dB；144dB SPL (-10dBパッド)
- 等価ノイズレベル：15dB A-weighted
- 出力インピーダンス：300 - 600Ω
- 推奨マイク・プリアンプインピーダンス：1 - 2.5 kΩ
- プリアンプ・トポロジー：Class A FET、変圧器不要
- 電源条件：30 VDC - 50 VDCファンタム電源
- 端子：3ピンXLR (オス)
- サイズ：直径22mm (0.87")、高さ132mm (5.20")
- 重量：115 g (4.0 oz)

M-Audio Pulsar IIマイクロフォンの周波数特性表：



M-Audio Pulsar IIマイクロフォンの極性レスポンス表：



製品保証

保証規定

エムオーディオでは安全上のご注意に基づいて適切に使用されている場合に限り、本製品をお買い上げいただいた日より一年間は保証期間となり修理は無償で行います。しかしながら、不適切な使用方法による破損の場合、ご購入者が所有していない場合、エムオーディオでのユーザー登録がお済みでない場合などは保証の対象となりません。但し、電源アダプタやケーブルなどの付属品は、適切な使用の結果不具合が生じた場合でも保証対象には含まれません（初期不良の場合は除く）。お使いの製品に対応する保証規定はwww.m-audio.jp/warrantyでご覧下さい。

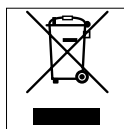
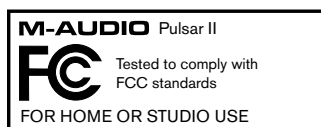
エムオーディオへ製品を送付する場合には、事前にエムオーディオのRA (Return Authorization) 番号を取得する必要があります。製品のRA番号を取得するには、エムオーディオへご連絡頂ければ、エムオーディオのカスタマーサービスが症状などをお伺いしエムオーディオへ製品の送付が必要と判断した場合にRA番号を発行させていただきます。製品のRA番号を取得後、具体的な症状や送付理由を書面に記述し、製品を保護する安全な梱包を施した上、外装パッケージにRA番号を明記しM-Audioまで送付下さい。製品の修理には発送時の送料、返却時の送料と発生し得る手数料はご購入者の負担となります（初期不良の場合は除く）。

ユーザー登録

エムオーディオへお問い合わせ頂く場合には、エムオーディオでのユーザー登録を完了しなければ製品保証や技術的なサポートを受けることができません。ユーザー登録を行うには、次の2つの方法があります。環境に合わせた方法でユーザー登録を行って下さい。1.) コンピュータで（一般的なWebブラウザ）エムオーディオWebサイトへアクセスできる方：エムオーディオ オンラインユーザー登録ページ<http://web.m-audio.jp/register/>にて、必要事項を入力して送信して下さい。2.) 携帯電話でエムオーディオWebサイトへアクセスできる方：エムオーディオ モバイルサイトのオンラインユーザー登録ページ<http://web.m-audio.jp/mobile/>にて、必要事項を入力して送信して下さい。（注意：ユーザー登録完了の御案内は行っておりませんのでご了承下さい。）



© 2008 Avid Technology, Inc.無断転載を禁ず。製品の特徴、技術仕様、システム必要環境、在庫状況は予告無く変更になることがあります。Avid、M-Audio、Pulsar IIIはAvid Technology, Inc.の商標または登録商標です。その他の商標はそれぞれの所有者に属します。



警告：本製品には鉛を含む化学物質が含まれます。癌や出生異常、その他生殖への危害の原因となる物質として米国カリフォルニア州で知られています。ご使用の後には手を洗って下さい。

M-Audio USA

5795 Martin Rd., Irwindale, CA 91706

Technical Support

web www.m-audio.com/tech
tel (pro products) (626) 633-9055
tel (consumer products) (626) 633-9066
fax (shipping) (626) 633-9032

Sales

e-mail sales@m-audio.com
tel 1(866) 657-6434
fax (626) 633-9070

Web www.m-audio.com

M-Audio U.K.

Floor 6, Gresham House, 53 Clarendon Road,
Watford WD17 1LA, United Kingdom

Technical Support

e-mail support@maudio.co.uk
tel (Mac and PC support) +44 (0)1753 658630

Sales

tel +44 (0)1923 204010
tel +44 (0)1923 204039

Web www.maudio.co.uk

Benelux

Technical Support

Belgium tel +32 22 54 88 93
Holland tel +31 35 625 0097

M-Audio France

Floor 6, Gresham House, 53 Clarendon Road,
Watford WD17 1LA, United Kingdom

Renseignements Commerciaux

tel 0 810 001 105
email info@m-audio.fr

Assistance Technique

PC 0 820 000 731
Mac 0 820 391 191
e-mail (PC) support@m-audio.fr
email (Mac) mac@m-audio.fr
fax +33 (0)1 72 72 90 52

Web www.m-audio.com

M-Audio Germany

Kuhallmand 34, D-74613 Ohringen, Germany

Technical Support

email support@m-audio.de
tel +49 (0)7941 - 9870030
tel +49 (0)7941 - 98 70070

Sales

e-mail info@m-audio.de
tel +49 (0)7941 98 7000
fax +49 (0)7941 98 70070

Web www.m-audio.de

M-Audio Canada

1400 St-Jean Baptiste Ave. #150, Quebec City,
Quebec G2E 5B7, Canada

Technical Support

e-mail techcanada@m-audio.com
tel (418) 872-0444
fax (418) 872-0034

Sales

e-mail infocanada@m-audio.com
tel (866) 872-0444
fax (418) 872-0034

Web www.m-audio.ca

M-Audio Japan

エムオーディオ/アビッドテクノロジー株式会社
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT新館ビル4F
Avid Technology K.K. | M-Audio
4F ATT Bldg. 2-11-7 Akasaka, Minato-ku
Tokyo 107-0052 Japan

製品をお持ちのお客様 | Customer Support & Technical Support

online http://www.m-audio.jp/support
tel 03-3505-4034

製品をお持ちでないお客様 | Pre Sales

e-mail sales@m-audio.jp
tel 03-3505-7963
fax 03-3505-3417

Web www.m-audio.jp

Web www.m-audio.jp